

2. 都市づくりの理念と目標

2-1 都市づくりの理念

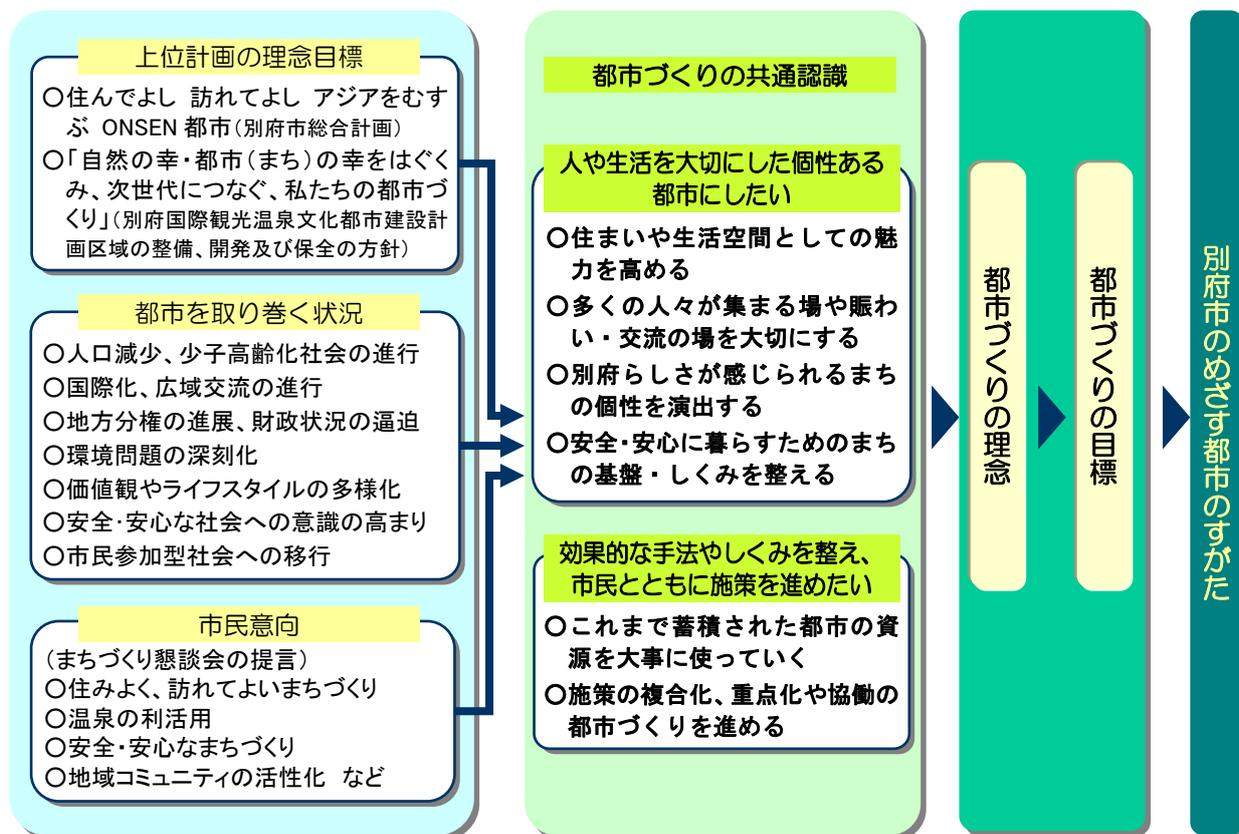
住んでよし、訪れてよしの

国際観光温泉(ONSEN)文化都市づくり

を基本理念として、自然環境、温泉、歴史文化など地域の資源を活かした ONSEN ツーリズムのまちづくりを進め、暮らし、交流を豊かにし、賑わいを高めていきます。

本市の都市づくりにおいては、都市の活力や生活水準の向上のための効果的な整備を進めるとともに、阿蘇くじゅう国立公園などの豊かな自然環境、別府八湯や湯けむり景観、近代化遺産や文化財などの歴史文化資源、および商業業務、医療福祉、行政サービス、学術研究などの都市機能など、蓄積されてきた多くの既存資源を活かしつつ、きめ細かに土地利用を誘導していきます。また、自然環境と共生しながら市民や観光客の快適性・利便性・安全性の向上を図り、暮らしの質や人々の交流を一層高める方向に力点を置いていきます。

これらの、市民・行政の協働による ONSEN ツーリズムのまちづくりを推進することにより、誰もが住み続けたい、訪れたいと思える、“国際観光温泉文化都市”をめざします。



2-2 都市づくりの目標

都市づくりの目標は、概ね20年後の将来を見据え、「都市づくりの理念」を受けて設定します。この目標は、めざそうとする別府市の姿であり、これから都市づくりに向けた施策展開の基本的方向となるものです。

賑わい 目標1 アジアをむすぶ、交流や観光が育まれる賑わいと活力のあるまち

もてなしの心を大切に、出会いや交流がいきいきと育まれている

観光、商工業、農林水産業が活性化し、産業が育っている

居住と産業が共存し、バランスがとれている

- アジア諸外国を含めた国内外から多くの人々が安心して訪れることができ、人や物が円滑に移動でき、様々な出会いや交流がいきいきと育まれるような都市をめざします。
- 多様な観光資源の新たな活用や展開による ONSEN ツーリズムのまちづくりを推進し、産業が育成される都市をめざします。
- 生活の場、人が集まり賑わう場、遊び憩う場など、職住の機能がバランスよく配置され、活力が高まる都市をめざします。

暮らし 目標2 日常生活が便利で、安全・快適に暮らせるコンパクトなまち

身近に生活利便施設があり、暮らしやすい

若者から高齢者まで多様な住まい方ができ、住み続けられる

自然災害対策や市街地環境が充実し、安心して暮らすことができる

車椅子やベビーカーでも安心して歩きまわれるバリアフリー化やユニバーサルデザインが充実している

- 住まいに身近な生活圏の中で、買物や通院、子育てなどの日常生活の利便性が高まるような都市をめざします。
- 自分の理想とする住まい方にあった住まいが確保でき、住み続けることができるように、多様な居住ニーズに対応した生活環境が整った都市をめざします。
- 災害対策や市街地の環境整備などの実施により、災害から市民生活を守り、観光客が安心して訪れることのできる、安全で快適な都市をめざします。
- 高齢者、障がい者、子育て世代など、あらゆる人々が安心して外出できるように歩行者の安全性を優先した都市をめざします。

環境 目標3 湯けむりなどの豊かな自然環境と歴史を守り育てるまち

人々をひきつける山、海、川、湯けむり景観を至るところで楽しむことができる

古いものと新しいものが共存し、身近な地域や人が集まり賑わう場所で、個性的なまちなみがある

自然環境と身近にふれ合える場所がある

- 鶴見連山を背景にした山々、別府湾、河川、湯けむり、別府市固有の景観を守りながら、国際的にアピールでき、人々を惹きつける景観を守り育てる都市をめざします。
- 目印となる、歴史のある建物等を大切に、生垣が連続する住宅景観やシンボルとなる拠点景観など、それぞれの特色を活かした個性ある都市をめざします。
- 都市の資源として、山、川、海の自然や農地を守り育てながら、ふれあいや学習の場として活用されるように、環境にやさしい資源循環型のまちづくりをめざします。

